
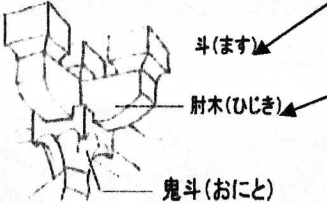

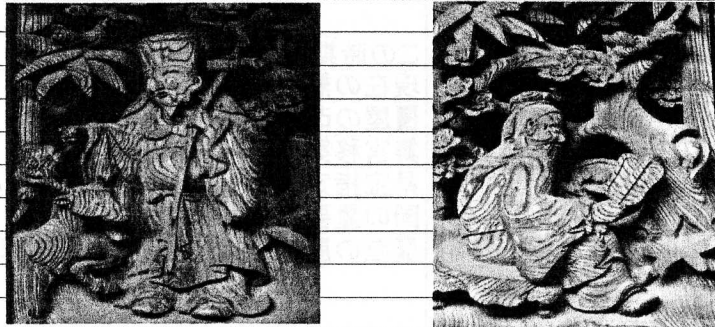
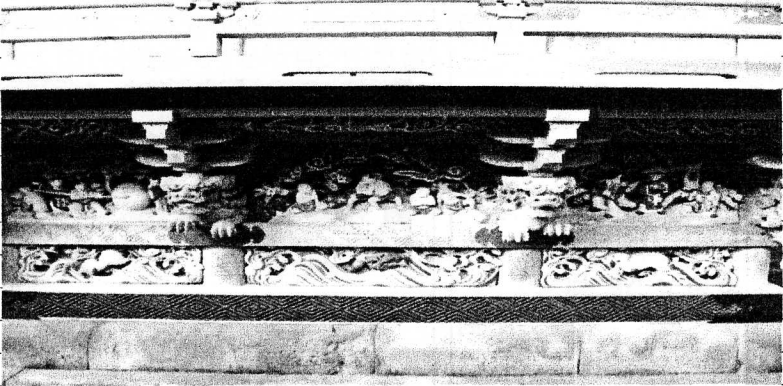
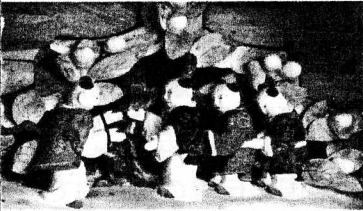


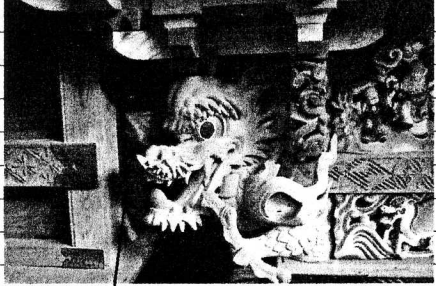


説明項目	説明内容
彫刻	
正面	
虹梁の龍	正面向拝(社殿の正面に突き出た構造物)の虹梁(虹のようにやや弓なりに曲がっている部分)の上に横たわる龍
	 <p data-bbox="1206 349 1434 479">すばらしい物だが約40年後の製作で文次郎の作ではない。</p>
屋根下の彫刻	屋根を支える
木鼻の彫刻	 <p data-bbox="1023 607 1422 748">柱を貫通させることで固定する横柱で肘木といい、壁から出ている数により第何手と呼ばれ、この先を木鼻と云い彫刻を施す</p>
屋根下より麒麟(キリン)	向拝柱上の麒麟は中国神話の伝説上の動物で鳳凰と並んで
獏(バク)	獣類の長とされ、秀でた才能を示す子供のことを麒麟児などと云う 第3手は中国の伝説の生き物で悪夢を見た後にこの夢「獏」に上げますと唱えると2度と同じ夢は見ないですむという
龍 唐獅子	第2手は中国の神話で荘厳にするために複雑にした竜 肘木第1手木鼻にはライオンを基に東アジアで形象化された工芸上の生き物
	
床上の彫刻	両袖障子の透かし彫りの彫刻
福録寿	七福神の一人で幸福(子供に恵まれる)、封録(財産)、長寿(健康を伴う長寿)の三つの幸せをかなえる
	
寿老人	七福神の一人で長寿を授ける神で松竹梅を交えて彫られている
欄干	太さが6cm位の棒に見えるが、直径20cm位の太い材を順次削った物であるから、切り口が尖鋭であり製作当時の美しさが残っている

説明項目	説明内容														
床下の彫刻	<p>三方九面にわたって、唐子が遊戯している場面、また唐獅子や竜などの動きなど表現する爪等、ほとんど破損することなく残っている。</p>   														
宝珠を持つ竜	<p>竜の彫物は全部で25体あり、その中に玉を持った竜がおり、これに触ってお参りすれば健康で幸せになると云われている。</p>   <p style="text-align: right;">宝珠</p>														
「気」について	<p>この付近で「気」を感じる人が沢山いる。昔の村人も今で云う「気」を感じて、ここに立派なお宮を建立しようとしたのではないか、そうでなければ147人だけの貧しい農民だけで後世に残せる立派なものを建てたことの説明がつかない。</p>														
別名	<p>いつの間にか規模は小さいながら日光東照宮に比べられ伊那日光と呼ばれる。</p>														
年表	<table border="0"> <tr> <td data-bbox="204 1615 539 1648">南北朝時代(1336～1392)</td> <td data-bbox="564 1615 1219 1648">この時期には原形はあった</td> </tr> <tr> <td data-bbox="341 1648 539 1682">宝暦9年～13年</td> <td data-bbox="564 1648 1219 1682">現在の熱田社創立</td> </tr> <tr> <td data-bbox="341 1682 539 1715">明治21年</td> <td data-bbox="564 1682 1219 1715">覆屋の改築</td> </tr> <tr> <td data-bbox="341 1715 539 1749">昭和11年</td> <td data-bbox="564 1715 1219 1749">舞宮移築</td> </tr> <tr> <td data-bbox="229 1749 539 1783">平成元年8月14日</td> <td data-bbox="564 1749 1219 1783">県宝指定</td> </tr> <tr> <td data-bbox="229 1783 539 1816">平成5年12月9日</td> <td data-bbox="564 1783 1219 1816">国の重要文化財指定</td> </tr> <tr> <td data-bbox="341 1816 539 1850">平成15年～16年</td> <td data-bbox="564 1816 1219 1850">覆屋の屋根の葺き替え、本殿一部改修、彫刻の補色</td> </tr> </table>	南北朝時代(1336～1392)	この時期には原形はあった	宝暦9年～13年	現在の熱田社創立	明治21年	覆屋の改築	昭和11年	舞宮移築	平成元年8月14日	県宝指定	平成5年12月9日	国の重要文化財指定	平成15年～16年	覆屋の屋根の葺き替え、本殿一部改修、彫刻の補色
南北朝時代(1336～1392)	この時期には原形はあった														
宝暦9年～13年	現在の熱田社創立														
明治21年	覆屋の改築														
昭和11年	舞宮移築														
平成元年8月14日	県宝指定														
平成5年12月9日	国の重要文化財指定														
平成15年～16年	覆屋の屋根の葺き替え、本殿一部改修、彫刻の補色														